

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

□モデル協議白熱！

各地でも準備すすむ…………… 1P

□知多市「市プロジェクト」…………… 2P

□ホームページ作成講習会…………… 2P

□会員団体紹介…………… 2P

□インターンシップ報告…………… 3P

□NPO職員リレー…………… 3P

□インフォメーション…………… 4P

モデル協議白熱！各地でも準備すすむ

地域をつむぐ「縁結び人」養成塾

【地域をつむぐ縁結び人養成塾】では、9月6日(コーディネート)、20日(プロデュース)の集合研修を終え、引き続き26日南粕谷、28日阿久比においてモデル協議の場第1回のスタートを切りました。

コミュニティ内の空き店舗を活用し、多世代交流拠点を整備する知多市南粕谷コミュニティでは、この拠点の活用策や経営方法について関係者協議を開催。すでに2回の会議を終えました。

コミュニティ活動が盛んな南粕谷ですが、これまで中高年と若い世代が意見交換した経験はほとんどなく、2回の協議で互いの情報が行き交い、一つの拠点を多世代が利用する方向性を共有できました。



地縁モデル(知多市南粕谷) 小学校の生涯学習ルームで開催した第2回

今後は、拠点づくり実行委員会が知多地域のNPO現場見学バスツアーや島根県雲南市の地域自主組織を見学する予定。研修を通して得た情報を共有しながら、残り3回の

協議を重ねます。

阿久比町第2回では、1回目が出たキーワード「農業・子育て・安心して働く」の町内データを確認後、各メンバーの取り組みを共有。

2回目では、耕作放棄地や農業の担い手不足について、孤立しがちな男性高齢者や子育て支援、障がい者就労の視点で、小さなお金が回るしくみづくり(コミュニティビジネス)に集約されていきました。具体的に考えるためにメンバーの実践現場を見ようと、3回目でアイガモ農法の作業場・「知多美人そば」の蕎麦畑・NPO法人もやいを訪問することが決まりました。



市町モデル(阿久比町)中央公民館で第2回を開催

集合研修終了後、2つのモデル協議を見学しながら、受講生は自分の地域で課題解決の会議を立ち上げる準備を行っています。個別相談に上がっている課題は次の通り。

1. 市民活動センターのあり方
 2. 地縁での防災減災対策
 3. (療育手帳のない)障がい児の預かり事業立ち上げ
 4. 多世代交流サロンの活性化
 5. 子育てネットワークの活用策
 6. いじめ撲滅のための教育プログラム実践
 7. 「いつか私もお世話になります基金」づくり
 8. (転院・入所時の)身元保証人のいない地域づくり
- 今後、モデル協議を重ねながら、受講生の実践支援を行い、下記のフォーラムで「協議の場普及ツール」と共に報告いたします。

2月24日(日) 実践報告フォーラム

～一人ひとりの市民の育ち合いから地域自治へ～

- 先進事例
- 参加者の実践報告
- 普及ツールの紹介

13:00-17:00
定員 100名

会場 国際デザインセンター6階セミナー3
ナディアパーク・デザインセンタービル
(名古屋市中区栄3-18-1)

■知多市新しい公共「市(いち)プロジェクト」



まずはやってみよう!と、4回目に「夜カフェ」を企画し、内容について熱く語り合う参加者ら。

知多市のヒト・モノ・情報がつながって、市民一人ひとりが活躍できる場があったらいいなという数人の市民の声

がセンターに寄せられ、7月21日から協議の場(=話し合いの場)が始まり、10月20日を以て全5回を終えた。この事業を通じて、今まで市民活動センターに来館したことのない人に呼び掛け、事業者、学生からシニア世代まで、さまざまな人が集まり、『あったらいいなをカタチ』にした。

5回の協議の末、住んでいる人が元気になる!“人が集まる場”の仕組みをつくり、毎月の担当者がテーマを決めて場をつくっていく。どんどん市民を巻き込んで、気軽に立ち寄れる場から、ヒトとヒト、モノ・情報をつないでいくことが決まった。今後、協議に参加したメンバーが中心となり、毎月第3土曜日の19時～話し合いを続けていく。ただいま、市プロジェクトメンバーを募集中♪関心のある方は、サポートちたまでお問い合わせください。(江ノ上)

■知多市ホームページ作成のための講習会

9月7日から10月12日までの全5回にわたり、知多市市民活動センターにて、センター登録団体を対象に「ホームページ作成のための講習会」が開催され、28名の方が参加した。

講師は、センター登録団体「パソコンボランティアまうすの会」の会員。「まうすの会」は、定年退職された方を中心に、パソコンのスキル向上を目的に活動するボランティア団体で、平成24年2月のセンターホームページ開設に従事された経緯がある。この時、必要だけできないホームページの必要性と、まうすの会会員のスキルアップのため、また、センターのホームページの利用啓発も兼ねて、会と市とサポートちたの3者合意のもとに進められた。

内容は、ホームページに関する基本的な講義と課題ページ作成に取り組みながら、最終回には、各自の成果発表も兼ねて交流会を行った。参加者

からは、「自分でホームページを作ってみようという、勇気を与えてくれた。」「今回の成果は、ホームページの運用サポートに活かしていけると思う。」等、ホームページのあり方について考える良い機会になった。

講習会終了後も、まうすの会が週1回の団体支援を自主的に継続している。市民参加のカタチが相互スタイルだからこそで生まれる、きめ細かいサービスの提供や問題点へ素早く対応できるネットワークの良さが、センターの魅力アップにつながりつつある。

今後のセンターの情報発信について、知多市、社協ボランティアセンター、サポートちた、まうすの会の4者で協議する場を持ち、連携しながら支援体制を整えていく予定。(山森)

☆会員団体紹介☆

「NPO法人菜の花 こどものいえ」

高齢者への介護サービスを主に活動していたNPO法人菜の花は、平成23年7月より放課後児童クラブ「こどものいえ」を始めた。子ども一人ひとりが「自分で考え、選ぶ」喜びを知り、「責任」を学び、友だちや家



20分働くともらえるをこどものまち通貨『100なのはな』を真剣なまなざしで作成するこどもスタッフたち。

族以外の人たちからの関わりの中で、「生きる力」を養う場にしていきたいという理念の元、子ども達と一緒に泣いたり笑ったり、ケンカしては仲直り…と毎日賑やかに過ごしている。

今年度は、子どもゆめ基金助成で半田市の小・中学生を対象に“こどものまち ミニおつひ※”を開催する。そこでは、子どもが主体となり、お金の流れを学び、働くことの意味や自分で考え、選ぶ喜びを体験しながら【まち】をつくっていく。

責任者の新美さんは、この経験を通して子どもスタッフが達成感を味わい、地域に向けては「子ども応援プロジェクト」に関心を抱いて、参加するきっかけづくりになればいいなと話をしてくれた。(江ノ上)

※おつひ…半田市乙川東地区の略

■インターンシップ報告

愛知県10名(7月24日から8月30日の10日間)
大府市2名(8月30日から9月8日の6日間)

西三河県税 喜多村佳史さん

NPO組織への認識は「現場活動中心の支援団体」という漠然としたもの。今回、多くのNPO関係者接し、熱意ある支援活動の体験を得た。

土地水資源課 安藤一貴さん

地域や住民のために仕事をしている実感が持てる環境が、大変うらやましく感じた。

吉良高等学校 木村阿矢加さん

地域問題の解決のため熱い思いをもつ方と出会い、まず一歩踏み出し行動する大切さを学んだ。

広報広聴課 甲斐琢也さん

サポートちたが地域の繋がりを支え、他のNPOや住民の信頼を得ていることを実感した。

名古屋南部県税事務所 三輪智也さん

研修初日のNPO見学ツアーでは、知多地域のNPOとの貴重な体験が有意義でした。

西三河県民事務所 小田薫さん

中間支援での研修は、今までのNPOのイメージとは大きく違う経験ができた。

財政課 佐藤岳さん

なかなか触れる機会のない分野なので、これまでの考えが少し変わったこともあり有意義な研修だった。

観光コンベンション課 浅見麻衣子さん

様々なNPO団体の方との機会がより多角的な視点や地域福祉に関する知識が身についたと感じる。

産業振興課 一色勝之さん

中間支援組織はイメージしていたNPOとは違ったが、組織の存在を知れたことがよかった。

都市整備課 今泉 知子さん

目的意識をしっかりと持ち、NPOの活動をされている方々と一緒に働かせていただき、多くの刺激を受けました。

大府市生活安全課 吉田直弘さん

NPOが行政へ求めるものは、活動への認知や、行政との関わりを持つことが望まれている。より良い生活提供のために、行政側の理解が課題だ。

大府市児童課 永露真佳さん

よりよい地域の実現に向けて活動するNPOの方がたくさんいることと、市の一職員としてNPO活動に関心を持ち、様々な視点で何ができるのかを考えていきたい。
(研修後の一言より抜粋)

■協働研修報告

協働推進を図るため、東浦町はバスツアーによる現場見学や、知多地域成年後見センターの事例を検討する研修が10月から11月にかけて3日間行われる。長久手市もまた、対象を課長職以上と一般職の2回に分けて実施する。さらに、長久手市の市民活動実践者を対象にしたステップアップ3回講座を9月に実施し、市と市民の対等な関係作りを目指している。

■豊明市ボランティアポイント制度の開始

豊明市では、介護保険法に基く地域支援事業として、65歳以上の高齢者を対象に、きっかけづくりと互助を育むために、10月25日よりスタートした。説明会では予定の約2倍の方が参加、ボランティアに対する関心の高さが伺える。(市野)

NPO担当職員リレー

尾張旭市市民生活部市民活動課

市民活動支援センター 大東恭子さん



産休と育休を利用しながら仕事をし続け、現在は支援センターを担当して3年目になる。直営ゆえの悩みは、職員が一人なので現場に出向くことがなかなかできないこと。

地元で生まれ育ち、仕事上触れてしまう個人情報に耳や目を閉ざした時期もあったが、センターを担当するようになって、市民団体の方から話をよく聞き、顔を覚えてもらい、地域資源をつなぎながら、協力の輪を広げている。

個々の団体の力をつけるため、市役所内の仕事に団体の得意を活かせるような結びつけをしている。そのためには、より多く細やかな情報が必要なので、今年度中にセンター登録団体の実績調査を行う予定。また、交流会で情報をつなぎ、一緒に何かを作り出す。「実績からよりステップアップした横のつながりづくりが今の宿題です。」と、笑顔がやさしい。

この11月に、現市長と市民活動の現場をつなぎ、現場視察を予定している。その団体は昨年夏に立ち上げた、子育て支援団体「はぐまま」。実家にも頼れないママたちが後回しにしてきた時間を楽しむために、託児の預かり合いをしている。産後ケアエクササイズや料理、子どもだけじゃなくママたちのチアダンスなど、単発のイベント開催が地域につながるようにさりげなくアドバイスを。「私」の生活視点で、市民活動の応援をし続ける。(市野)

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■みんなで学ぼう！成年後見制度

～成年後見制度の活用に向けて～

成年後見制度とは、認知症の高齢者、また知的障がいや精神障がい判断能力が不十分な方々の権利や財産を守る制度です。今回は、この制度の事を広く地域の方々に知っていただくために、わかりやすい事例を使って「サービス担当者会議」のロールプレイを企画しました。後半は、シンポジストに武豊町福祉課、武豊町地域包括支援センター、知多南部相談支援センターゆめじろう、武豊福寿園を迎え、制度活用について伺います。

<日時>11月24日(土) 13時半～16時(13時開場)

<会場>武豊町民会館ゆめたろうプラザ(武豊町字大門田 11)

<定員>200名 ※参加費無料、申込不要

<問合せ>(N)知多地域成年後見センター/半田事務所: ☎

0569-21-0811/知多事務所: ☎ 0562-39-2663

■ネットワーク大府おり～ぶ 第5回さおり織り作品展

さをり織り作品展を行います。即売・体験織りもあります。

<日時>11月17日(土)、18日(日) 10時～16時

<会場>ネットワークみやび1階ホール(大府市森岡町2-28)

<問合せ>(N)ネットワーク大府事務局 ☎ 0562-44-3735

■プレマクラブ スタッフ募集！

①大型免許ドライバー(半田市周辺)

15人乗りワンボックスカーで、障がい児の送迎を担当。

13～15時、17時半～19時半(例外あり)。

②調理スタッフ(半田市彦洲町)

2～5歳児の約50名分の調理 8時-11時頃。

<問合せ>(N)プレマクラブ(石川) ☎ 090-3588-2656

■だいこんの花 ヘルパー、看護師 募集中！

だいこんの花は、利用者様と歩みを合わせてゆっくり一緒に生きていきたい事業所です。訪問介護・通所介護・障がい者支援・福祉有償運送事業等を行っています。週1日、1時間からでも大丈夫です！地域の皆様の暮らしを支える私たちと一緒に働いてみませんか？

<問合せ>(N)だいこんの花 ☎ 0562-85-5000

■ひだまり ゆる体操初級教室 会員募集！

ゆる体操は、気持ちよく声を出したり笑ったりしながら、体をゆるめほぐしていきます。毎週火曜日に開催中！

<開催>① 10:00～11:15

クラシティ半田市民活動ルーム

② 18:45～20:00 雁宿ホール和室

<問合せ>(N)ひだまり ☎ 0569-26-3835

■不登校・ひきこもり家族支援相談会

基調講演に立命館大学山本耕平氏を迎え、子ども若者支援者ネットワークによるグループシェア相談会を開催。精神保健福祉相談員による個別相談は要予約。

<日時>11月17日(土) 13時～16時(12時半開場)

<会場>知多市民体育館 2階 大会議室

<対象>不登校やひきこもりに悩むご本人やその家族の方、またその支援をおこなう方

<定員>70名 ※参加費無料、定員になり次第締切

<問合せ>(N)地域福祉サポートちた(市野)

■パソコンなんでも相談室開催

パソコン操作の困ったを一緒に解決しませんか？トヨタ車体株式会社 TABふれあいクラブ IT支援サークルによる社会貢献活動として開催します。11月17日の相談テーマはfacebookの使い方です。

<日時>11/17、12/15、H25.1/19、2/16、3/16

いずれも第3土曜日 14時～16時

<会場>知多市市民活動センター1階 交流室

<参加費>無料 <持ち物>パソコン

<問合せ>(N)地域福祉サポートちた(江端)

■地域の魅力を育む愛知まちのたね通信の紹介

愛知県を中心に暮らし、グルメ、歴史、行事、イベント、観光、市民活動情報などを地元住民がフォトレポーターとなって、地域の魅力をリアルタイムに発信中。あなたも「愛知まちのたね通信」の写真へ、コメントやツイッター、facebookいいね！で参加しませんか？！<http://aichi.machitane.net/>
<問合せ>(N)地域福祉サポートちた(市野)

NPO現場見学バスツアー

11月20日(火)、12月20日(木)

時間:9:30～16:30

参加費:5,000円(昼食代別途)

オプションツアー常時受付中！

目的に合わせて企画します。(江端)

※大型免許ドライバー募集中！



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1

知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631

Fax 0562 (33) 1743